

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 11 月 18 日作成 第 1.1 版

研究課題名	下顎近位骨片の計画的開大を行ったオーバークロージャーを伴う下顎前突症患者の術後安定性の検討
研究の対象	2018 年 4 月 1 日から研究機関の長の実施許可日までに、横浜市立大学附属市民総合医療センター歯科・口腔外科・矯正歯科において、顎矯正手術施行時に下顎骨近位骨片の計画的な開大を行った骨格性下顎前突患者さん
研究の目的	顎矯正手術時に近位骨片を含めた計画的な下顎の開大を行った際の術後安定性を検討するために行います
研究の方法	手術前後に撮影したレントゲンおよび CT 画像を解析して検証します。いずれも通常の診療で得られた画像を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2022 年 9 月 13 日（機関の長の許可日）～ 西暦 2027 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 患者基本情報：年齢、性別、術前の顎変形症疾患の程度、咬合関係 2) 手術方法（術式は下顎枝矢状分割術） 3) 手術情報（下顎骨近位骨片、遠位骨片の移動量） 4) 画像検査として、術前および術後の頭部 X 線規格写真、CT
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 歯科・口腔外科・矯正歯科 今井治樹
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、大学の基礎研究費を用いて行います。本研究において開示すべき利益相反はありません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

研究組織 （利用する者の 範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 歯科・口腔外科・矯正歯科（研究責任者）今井治樹
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 歯科・口腔外科・矯正歯科 （研究責任者/問い合わせ担当者）今井治樹</p> <p>電話番号：045 - 261-5656（代表） FAX：045 - 253-5716</p>	